

令和6年度 杜の都のエコ・スクール活動報告書

学校番号	209	学校名	仙台市立五橋中学校	校長名	鶴岡 勝彦
------	-----	-----	-----------	-----	-------

1 取組のタイトル, テーマ
「身近なところから着実に」



2 取組の紹介

(1) 紙の使用の削減

前年度から取り組んでいる、生徒会総会の ICT 端末使用や委員会時の ICT 端末持参によって、生徒会活動における紙の使用を削減することができています。意見集約, アンケート集計の効率化だけでなく、紙の使用をしないことによって、資源の有効活用や、限りある資源を大切にすることの重要性を実感する機会となっています。

(2) 古紙回収

本校では、各クラスに古紙回収のためのかごが設置されており、個人情報記載されていない、余りプリントを奉仕委員会が回収する活動をしています。余った物や、使用した物をただ捨てるのではなく再活用する、資源のリサイクルを理解することができています。

(3) ゴミの分別

教室に「燃えるゴミ」と「プラゴミ」の2種類のゴミ箱を設置しています。「燃えるゴミ」の方には「ティッシュ」などの記載がされており、同様に「プラゴミ」の方には「ストロー、ストローの袋、プラ」と記載されていて、分別してゴミを捨てています。プラゴミについては美化委員が回収する活動をしています。また、学校で加湿器を使用する時期には、教室で空きペットボトルの呼びかけを行い、水くみ用の入れ物として再利用するようにしています。校内の飲み物のゴミ箱にはキャップ用、ペットボトル用、ビン・カン用が用意されており、これらは生徒が使う機会はないですが、リサイクルの手段を学ぶ機会となっています。

(4) 緑化活動

1年間を通して春と秋の2度、奉仕委員会の生徒が中心となり校内の花壇に季節の花を植える活動をしています。花壇は、道路に面した校門から昇降口へ続く通り道にあり、仙台の中心地に位置している本校が色とりどりの花で華やかになります。生徒が苗を植える際は、根を傷つけないように優しく持ち、丁寧に土をかけるだけでなく、配置や配色のバランスなど、見栄えに気を付けて取り組んでいます。この活動で景観を美しくするだけでなく、自然に触れることで自然を大切にする心を育てています。



3 取組の成果 (児童生徒の変容)

本校では昨年度も「身近なところから着実に」環境問題に取り組んできました。継続して取り組むことで、紙の再利用やゴミの分別が自然とできるようになった生徒が多いように感じます。また、SDGs や地球温暖化に関心が高い生徒も、昨年から引き続き多くいるようです。本校では引き続き、授業の中だけでなく、日常的な取り組みを通して身近なところから着実に環境問題に向き合う姿勢を養っていきます。